

開催にあたって

近年、よりよい血糖コントロールを達成するための手段として、多くの新しいインスリンやペン注射器、ポンプの開発が成されています。また、DCCTやKumamoto Study、UKPDSなどの多くの大規模臨床試験により血糖コントロールを可能な限り正常化することが合併症を予防する切り札となることが示されています。そのため強化インスリン療法は1型糖尿病患者や一部の2型糖尿病患者にとっても標準的な治療法となりつつあり、それをサポートするための血糖測定機器などの開発も急速に進んでおります。

とくに新しいインスリンやインスリンアナログについては、発売後数年がたち、当初の研究成果と比べ、徐々にその特性や使用方法のノウハウが蓄積されつつあり、またそれとともにチームとしてどのように患者様に向き合い、療養をサポートすべきかという方向性が見えつつある状況となっています。

このような状況をふまえ、今回は教育講演として上記に述べたようなインスリン治療法の進歩や変化について、またその中でCDEの役割をテーマとした講演を2題、ランチョンセミナーには世界でも糖尿病メンタルケアの第一人者である、ジョスリン糖尿病センターのAlan Jacobson先生の御講演、特別講演としてつい先頃行われた藤澤氏島移植の現場にいらっしゃる京大病院の山田祐一郎先生にホットな移植の話題の御講演をお願い致しました。また、一般演題も昨年よりさらに多くのご応募をいただき大変感謝致しております。本研究会においてはインスリンポンプの使用法に始まり、インスリン療法についてのさまざまな情報を交換し合い、また糖尿病へのチーム医療を充実させていく上での一助となるような場を提供していきたいと準備を進めております。

ぜひ皆様にはクールな札幌でホットなディスカッションをしていただくとともに、夏の北海道をエンジョイしていただければ幸いです。多くの方の参加をお待ちしております。



第5回先進インスリン療法研究会当番世話人
市立札幌病院 内分泌代謝内科

柳澤 克之